

会 議 録

新庄市教育委員会

開催月日	令和2年12月23日(水曜日)
開催場所	新庄市役所301・302会議室
出席委員	高野博教育長、栗田正人委員、阿部浩悦委員、斉藤浩昭委員、奥山京子委員
欠席委員	なし
出席課長	武田信也教育次長兼教育総務課長、高橋昭一学校教育課長、渡辺政紀社会教育課長
欠席課長	なし
議 事 の 大 要	

午後2時00分より、教育長のあいさつで、12月定例教育委員会を開会する。

1. 開会

高野博教育長のあいさつで開会する。

2. 会期決定

会期12月23日、1日間とする。

3. 会議録署名委員指名

新庄市教育委員会会議規則第19条第2項の規定に基づき、教育長が栗田正人委員と阿部浩悦委員を指名する。

4. 前回会議録の承認

令和2年11月定例教育委員会の会議録が承認される。

5. 教育長報告

(1) 令和元年度12月市議会定例会における教育関係一般質問の概要について

(教育長) 初めに、令和2年12月市議会定例会における教育関係一般質問の概要について、私の方から報告を申し上げます。1ページになりますが、今回は2名からの一般質問がありました。まず山科春美議員の方から、学校での自殺防止教育について、コロナのことによって自殺など、そういったことはないのかということをお心配されていたのですが、本市では『いのちの尊厳を根底に据えた心の教育』を学校教育の重点としておりますので、各校で『いのちの教育』を教育活動に位置付け取り組んでいる。道徳を含めた各教科や、特別活動で指導をしたり、月ごとに『いのちの日』を設定したりするなど、あらゆる場面で自分や他者を大切に、自尊感情が高まるように指導している。このことが自殺防止につながっていると答弁させていただきました。また、保健体育の授業では、ストレス対応のことや一人で抱え込まずに相談すること、アンケートを実施してアンテナを高くしているということ、それで自殺防止に努めているということをお話したところでございます。次に佐藤悦子議員から、北辰小学校の跡地利用について、事業債、その中でも転用債を使

って、体育館だけでなく、校舎もそのまま残して活かすようなことはできないのかという質問がありました。北辰小学校の跡地利用については、昨年の令和元年11月に『北辰学区学校づくり協議会』より跡地利用についての要望書が提出されたということ、2ページに移りまして、その要望内容に最大限応えられるよう前向きな検討を進めているということをお話しました。議員がおっしゃる『公共施設等適正管理推進事業債』の中には『転用事業』もある訳ですが、この明倫学園の校舎棟の建築については、『集約化・複合化事業』を活用して進めているのだと、この集約化事業をやることはどういう意味かという、明倫中学校・沼田小学校・北辰小学校の施設一体化の義務教育学校に集約化するというのと、学童も一緒に併設するというので施設の複合化を図っていくということ、この集約化複合事業債を使うことで元利償還金の50%の交付措置が見込めるので、この起債をまずは使っていきたいと、そしてその集約化・複合化後のこの事業債を使う場合は、新しい施設の使用開始から5年以内に延べ床面積を減らさなければいけないということになっているので、それをまず達成することが大事だということをお話しました。それを達成しないとこれまで借りてきたものを全部返さなければいけなくなって、かえって困るということで『集約化・複合化事業』の適用条件をしっかりと達成することが先だということをお話させていただきました。以上が質問についてお答えさせていただいたものでございます。ただいまの説明についてご質問はございませんか。よろしいでしょうか。

6. 議事

議案第40号 新庄市いじめ問題対策専門委員会委員の選任について

(学校教育課長) 議案第40号 新庄市いじめ問題対策専門委員会委員の選任についてでございます。

新庄市いじめ防止等対策推進条例において、いじめ問題対策専門委員会を置き、いじめ防止対策のための調査・審議・重大事態に係る事実関係等の調査等を行うこととしております。この度勤務先の法律事務所に置かれまして、人事異動があったということで新任の方に引き継ぐということで報告いただきました。任期は残任期間となります令和3年2月26日まででございます。よろしくお願いたします。

(教育長) ただいまの説明について、ご質問・ご意見がある場合はお願いたします。

(委員) 法律の専門ということなのですが、スクールロイヤーとかとは違って、いじめを防止するための仕事をなさる方なのですか。

(学校教育課長) はい。いじめに関する防止のための調査及び審議等について、諮問をしてご意見をいただくという立場になっております。ですので、スクールロイヤーとはまた別の組織ということになります。

(教育長) よろしいでしょうか。他にございませんか。法律事務所の方で人事異動があったということで、後任が決まったので後任に在任期間はお願するということですが、よろしいでしょうか。では、特にご異議がなければ承認をお願いたします。

(委員) 異議なし

(教育長) では、議案第 40 号 新庄市いじめ問題対策専門委員会委員の選任については提案の通り承認されました。

7. その他

(1) 新庄市小・中学校長会からの要望事項に対する回答について

(教育次長兼教育総務課長) それでは新庄小・中学校長会からの要望事項に対する回答についての説明を申し上げます。校長会からかなりの数の要望をいただいておりますが、それぞれ担当課が異なりますので担当課ごとにご説明申し上げたいと思います。まず教育総務課でございますが、1 (1) ① エアコンの設置についてでございます。エアコンは普通教室に全部ついているという状況でございますが、それを設置するとまた次の場所をお願いしたいという要望が必ず来るのですが、今回も特別教室や体育館等のそういったところにもエアコンを設置してほしいという要望をいただいております。この件につきましては、全校の普通教室で3億弱かかっているわけなのですが、こういう特別教室等となると同じくらいかそれ以上の経費がかかりますので、その辺は計画的に進めなければならないということで、明倫中学校・沼田小学校・北辰小学校の職員室や図書室、保健室等に設置されているエアコンは平成26年度に設置しているのですが、これを来年度、解体する前に外して保管しておきまして、できれば令和4年6月頃までに、数は足りないのですが各校の要望を聞きながらそれぞれに分配する形で設置していくという方向で今のところ進めさせていただきたいというような回答をさせていただきたいと思っております。これからはポイントを絞ってお話をさせていただきたいと思っております。次に②トイレの洋式化と避難所の多目的トイレやスロープ、エレベーターの設置について要望をいただいております。トイレの洋式化に関しましては、やはり、喫緊の課題と考えておきまして、令和3年3月に5か年の市全体の中期財政計画が策定されるのですが、それに何とか組み込まれるように財政課と協議をしているところでございます。その他、多目的トイレやスロープ、エレベーターというのも相当な経費がかかることとなりますので、これも計画的に見ていかなければならないということで、これから国の補助制度等も考えながら検討していきたいという回答にさせていただきたいと思っております。次に(2) 防犯カメラの整備について、学校の様々な方面から撮影できるような防犯カメラの設置をお願いしたいというようなご要望をいただいております。学校内ではなく学校外の通学路も含めた形の市内の各箇所に防犯カメラを設置する動きが環境課の方で始まっております。具体的には来年度から予算を確保して設置の方向で何ヶ年かの計画で設置する方向で動き始めております。まず、これを見ながら、学校内にも何とか防犯カメラの設置を検討していきたいという回答とさせていただいております。次に(5) ギガスクール構想についてでございますが、GIGAスクール構想を実現させていく上でクラウド化をしてほしいというふうなご要望をいただいております。これについては、うちの方でも当初から各学校のクラウド化は必然であるということで、これも推進していきたいと考えておりますので、そのような内容の回答をさせていただきたいと思っております。次に(10) タイムカードと留守番電話の導入についてでございます。タイムカードの導入につきましては、今年度中に既決の予算で整備していく方向で財政課とは協議がまとまっております。3月までにはタイムカードを導入し、来年の4月から、新年度からの利用に向けて準備を行っているところです。また、留守番機能付き電話につきましては、

何とか整備したいと考えておりました、全ての学校合わせて160万円ほどの予算化を当初予算で要求しているのですが、実際にはかなり厳しい状況となっております。そのような回答にさせていただきたいと考えております。次に、2(4)スクールバスの利活用について、校外学習や部活動における配当時間を増加してほしいというような要望をいただいておりますが、実際のところ現在新型コロナウイルス感染症対策で、運転手が15名ですが、レンタカーも1台借りた状態でフルで動いていただいている状況であります。運転手も高齢化している状況でありますので、これ以上増やすと事故などの心配もありますので、今のところは今のままでなんとか工夫して使っていただきたいという回答にさせていただきたいと思っております。(5)ギガスクール構想にかかわるソフトの整備やICTの整備についてであります。ソフト面での充実や教職員の研修の機会を設定させていただきたいと、特に学校訪問型の研修の実施をお願いしたい、一部の教員に負担がかからないようお願いしたいというご要望でございます。それからWi-Fiの強化もお願いしたいということですが、基本的にはこのWi-Fiの強化については、今月実施設計がまとまりまして、公示が5つに分けた形で工事を行う予定で、入札の公示を今日いたしまして、年明け早々に入札が実施されて3月までにはなんとかできる予定であります。加えまして、GIGAスクールサポーターの方も各中学校区に2名ずつ配置するというで今動いていますので、そのような内容の回答とさせていただきたいと考えております。ただ、一部の教員に負担がかからないようお願いいたしますと学校側からお願いさせているのですが、教育委員会の方からも学校現場の方に、一部の教員に負担がかからないようお願いしたいとお伝えしたいと考えております。次に(7)校務支援システムについてですが、今後やっていきたいのですが、予算が今かなり厳しい状況になっております。来年度の当初予算ベースで、教育費が歳出ベースでは去年の半分30億円程度が10数億円になっているのですが、それだけを見るとだいぶ減っているように見えるのですが、その財源の中の一般財源という、要は税金等を財源で当てている部分が逆に1億8,000万円程教育費ベースで動いており、増加している状況であって、予算の確保がかなり厳しい状況になっております。そういったこともありまして、早めになんとか入れていきたいと考えておりますが、予算の様子を見ながら進めさせていただければと考えております。4(1)校長専用メールアドレスについてのご要望ですが、これについてはGIGAスクール構想の実現を図ると1人1アカウントの設定を図る必要がありますので、やがて校長専用のメールアドレスもできるのですが、それができるまで少々お待ちくださいという回答にさせていただきたいと思っております。最後に4(6)金融機関の口座についてということで、実は銀行側の方から、口振のシステムが変更になるという連絡がありました。今までフロッピーディスクを使っていましたが、それがなくなり別の形になると、また手数料が出てくるということで、これを何とか市の方でというご要望をいただいております。これについては、来年の4月に向けまして、当初予算に手数料の予算を要求中です。郡内7町村、そしてそれを始めとする県内でも同様の予算化を図る動きがあるようです。給食費にかかる手数料については、公費で負担すべきという考えがございますので、これに関わる一連の集金にかかる手数料を公費で賄うといったことから、どこの自治体も予算化の方向で動いております。新庄市も他のところと同様に、頑張っって予算化を図りたいと考えております。よろしくお願ひしたいと思ひます。私からは以上です。

(教育長) はい。では次に学校教育課お願ひします。

(学校教育課長) 学校教育課につきましても、要望数多くござひますが、主なものについて説明させて

いただきます。初めに1(6)個別学習指導員の増員、学習指導員、学校司書、協働活動支援員、スクールサポートスタッフの配置についてということで、増員や活動の仕方についてのご要望です。その回答ですが、今年度個別学習指導員等につきましては、1名増員しまして24名で進めております。また、協働活動支援員につきましては、学校司書のいない学校に1名の配置として学校図書館の運営・環境整備等を行っていただいております。指導員等の活用につきましては、この24名の中でこれから学校の配置を決めるわけなのですが、その実態に応じてその人数を決定していきます。仮に障害を持つ児童生徒がいらっしゃる場合につきましても、その配置数の中から対応をお願いするという回答をしたいと思っております。次に(7)検査キットの充実と特別支援教育のセンター機能の構築についてです。検査用具につきましては、実際年々検査の数が増えておりまして、各校からの検査希望日が重複することもあります。また、就学児につきましても、この度かなり多くの検査を行っております。そういう意味で、検査用具の拡充に向けて要望しているところであります。それから、教育相談員の1名については、就学児や不登校の生徒を対象として教育相談活動を行っておりますが、今年度からは巡回相談や検査、保護者面談等も指導主事と一緒に一緒に行っていただいております。その上で特別支援教育体制の構築に向けて推進していきたいと考えております。(8)学校栄養士についてです。市の任用している学校栄養士について、勤務時間を多くしてほしいということと、複数年配置という要望でございます。時間につきましては、実際業務が遅くなってしまうこともあることは承知しておりますので、その場合については勤務日や時間の割り振りの変更で対応いただくということをお願いしたいと思っております。また、複数年配置につきましては、一会計年度内となっているため複数年配置をすることはできないということについて説明させていただきます。2(1)出張等の精選・削減と教育研究所の再編(紙面、会議数、参加者等)についての要望でございます。具体的には会議を少なくしてほしいというような内容でありました。実際は、平成30年と比較して、今年度の予定数では、13回の研修会・会議を削減しております。教育研究所の代表校長等の自主的な計画ということでも推進をしておりますので、今後とも会議等の精選と充実を図っていくように努力してまいります。また、今後もこのような見直しを行いながら負担軽減を図っていくということについても説明したいと思っております。(2)幼児教育の特別支援教育の強化につきましては、幼稚園や保育所等の巡回相談に指導主事、教育相談員とともに、子育て推進課の養護担当職員2名が同行しているということで、これまで以上に就学児と幼児について対応していただいております。今年度、検査の数が31件ということで、今年から就学児についての対応も強化しておりますので、今後とも連携を図ってまいりたいと思っております。(3)学校集金の公会計化について、給食についての公会計化を要望するものであります。これについては、会計処理や徴収管理、物資の調達など様々な課題の整理や条例で定めるべき事項についての検討が必要になりますので、実施に向けては今後検討を進めていきたいという回答をさせていただきます。(11)児童虐待等の連携についてです。配慮児童については、今後も関係機関との連携のコーディネートをお願いしたいという要望であります。これまで通り、虐待については、疑いも含めて迅速な対応を行っているところでございます。また、市の子育て推進課と児童相談所についても連携を取っております。学校で発見する場合がありますので、迅速な対応ということで直接警察の方にもお願いすることもありますので、その事案に応じてできるだけ早く適切な対応を行っていきたくと思っております。そういう意味で、連携についてはこれまで通り進めていくという回答をさせていただきます。4(4)各種大会出場奨励費の申請手続きの改善についてです。学校事務の方が書類の作成等をすべてやっているという学校もございます。保護者の持ってくる資料を学校事務職員が取りまとめて、

教育委員会に提出する流れで手続きが進みますが、基本的に計算や資料を準備するのは保護者でやるという願いはこれまで通り続けていきたいと思っています。また、今後スポ少等については、保護者の方が直接教育委員会の方に資料をお持ちいただいて、学校教育課の職員が直接対応して処理をするという形に変えていくように現在検討しているところであります。最後になります。(5) 新型コロナウイルス感染症対策についての内容です。新庄市として、児童生徒の学習のあり方・方針を示していただくようお願いしますということで、この内容につきましては、国や県の通知もあるのですが、それらを参考にしながら、時には県よりも早く市独自として「学校再開後」「6月以降」「7月以降」「11月以降」等、状況に応じて方針を通知しております。また、学校で一番困っている合唱・調理等リスクの高い活動についても、具体的に通知で市の方針として出しておりますので、そのような内容で回答させていただきたいと思っております。以上です。

(教育長) はい。では社会教育課お願いします。

(社会教育課長) では社会教育課に移りまして、1(4) 学生ボランティア等(放課後子ども教室含む)の継続的な予算化についてということで、大学生等のボランティアの予算の確保というご要望がございましたけれども、大学生のボランティアにつきましては、小学校における北辰小学校の放課後子ども教室以外、学校においての需要はないのかなという状況でございます。その他大学生のボランティアといたしましては、市民プラザにおいて夏休みなどの長期期間、小学生の学習やイベントの開催ということで、大学生からご協力いただいているということでございます。基本的に北辰小学校の活動の中では、放課後子ども教室事業ということで県の補助事業を活用しているので、活用した上での経費の支出となっております、なかなか市単独でというのは難しいというところがあると考えております。そのような中で北辰小学校につきましては、義務教育学校明倫学園がスタートする中で、今後放課後子ども教室の活動をどうしていくかということはまだ検討されておらず、実施が未定である為、放課後子ども教室をどうするかということも合わせて対応を検討して参りたいと考えております。なお、大学生ボランティアにつきましては、子どもたちとの交流を続けていきたいという要望がございますので、大学生の方々につきましても、社会教育課の方で把握できる情報については提供しながら、新庄の子どもたちと関わっていただければというふうに思っているということでございます。続きまして3(1) 家庭教育支援についてということで、メディア関係の部分については、学校だけではなかなか十分な取り組みをする事はできないと、市における家庭教育の施策の中で、具体的にそのような内容について取り組んでいただきたいと。また、学校において家庭内の虐待事案や保護者の学校への過度な責任要求が多くなっており「親教育」など家庭教育の積極的な推進をお願いしたいということで、家庭教育において、メディア関係や学校に対する要望・要求、親の教育について、教育委員会や社会教育課としても関わってほしいというようなご要望がございます。まず、家庭教育においては「やまがた子育て講座」という県の補助事業を活用して、学校や幼稚園や保護者、保育所等で講演会等を実施していただいているというスタンスでございます。また、今年度につきましてはコロナ禍にあつて、そういったものの実施がなかなか難しい状況にありましたので、社会ニーズに応じた講座を社会教育課で開催したところでございます。今年度は、読み聞かせのスキルアップ研修会や、子供のやる気がぐんぐん育つ折れない心の育て方という講習会等を開催した所でございます。こちらにつきましては、前に説明いたしました、第5次の市の総合計画の基本計画の中で重視している、生涯を通じて学びあう学習関係の充実とい

うことで、家庭教育推進の中で主な取り組みとして挙げております、豊かな心を育成する、または家庭と地域の読み聞かせ・読書の推進という主な取り組みに合致するような中で、今年度社会教育課として実施させていただいたところでございます。また、メディア関係におけるインターネットを活用した利用につきましては「やまがた幼児共育広場」事業を活用して、ネットリテラシーの向上につながる経験を社会教育課として企画できればというふうに考えているところでございます。親教育については、各学校において必要と感じる親教育について、できれば「やまがた子育て講座」を活用しながら講演等を開いていただければと考えているところでございます。(2) 小学生のスポーツ少年団の啓発についてということで、スポ少の活動がまだまだ過熱状況にあり、コロナ感染予防を踏まえた活動の在り方を指導していただきたいという要望でございます。スポーツ少年団活動につきまして、コロナ感染症拡大防止対策を徹底していただくという通知・啓発については、市の体育協会がスポーツ少年団の事務局をしておりますので、そこを通して各団体に教育長・教育委員会として通知やお願いをしてきているところでございます。また、普段の活動においても「新庄市における部活動の在り方に関する基本方針」に準じた取り扱いをお願いしたいということで、何度か説明会もさせていただいたところでございますので、今後とも機会があればスポ少の団体の方に随時そのような啓発をしていきたいと考えているところでございます。社会教育課については以上でございます。

(教育長) はい、では各課から校長会からの要望に対してこのような形で回答をしていきたいという、まだ校長会には正式には回答していませんが、何かご質問やご意見ございませんか。

(委員) 2 (3) 学校集金の公会計化についてなのですが、年度末に卒業生の給食費の未納があると、どう扱ったらいいかということで、年明けのPTA総会で説明する必要が出てきます。私の経験では、質問などはなかったのが良かったのですが、未納金の扱いについてはグレーのまま推移する部分があるのではないかなと思います。地区内では確か最上町が公会計化をやっていると思うのですが、そういう事例なんかも、ここに書いてある通り、課題の整理等をして実施に向けて検討していきたいという事は、将来的には公会計化を図っていくという文面の捉え方でいいのでしょうか。

(学校教育課長) 今おっしゃったように、他町村または県内において、一部公会計化していることは承知しております。これについては国の方針はありますが、公会計化に向けて進めるには、やはり課題が大きいと捉えております。そういう意味で、まだ他市町村もなかなか進んでいない状況もわかりますので、そこも含めて状況も把握しながら実施する前提でということではまだないですが、そこも含めて検討をしていくということです。

(教育次長兼教育総務課長) それに関してですが、先ほどご覧のように、給食を無償化にすれば何も問題はいいですね。ただ、それをやるためには年間3億円が必要になってくるということで、やっぱり足踏みせざるを得ない。そういうこともあって、どういうふうにやっていくのかということも、やはり十分検討していかなければならないかなと。どのくらいお金がかかってくるのかとか、人の問題もありますし、その辺を十分慎重に検討していかないと進まないのかなと。ただ、いずれにせよ公会計化は目指していかなければならないことなのかなと、それもあって文科省の方からそういう働きかけもあります。

(教育長)他に公会計化で問題・課題となっていることは何がありますか。

(学校教育課長)まず人の問題、あとはセンター方式との違いもあると思いますし、新庄市の場合は親子給食で委託をしております、そういうこともあり栄養教諭・栄養士をつけているわけなのですが、その人的な配置から含めて課題だと考えています。

(教育長)結局その事務をする職員が必要になってくるってことですよね。簡単には、今事務局の人が預けることができないような事務量であるということを考えていかなければいけないし、だから最上町、金山町もセンター方式な訳ですよね。あとはさっき次長が言った全部無償化のところですね。できるだけ実施したいという考えはあるのだけれどいろいろな問題がたくさんあるということです。その他に何かございませんか。

(委員)GIGA スクール構想に関わっているいろいろ整備や研修も始まると思うのですが、専門性のある先生や理解のある先生などを教育センターに配置して、何か問題があったら学校に来ていただいて教えていただくということはないのでしょうか。

(教育長)私から答えますが、まず教育センターそのものがそういう人が置けるような状況ではないということになります。センターの存在までもが問題視になって、算数・数学の主幹を置いたことについても、その置いたことに必要性があるのかと言われている状況で、センターに人を置くことはまず無理だと思います。新庄市の場合は東北情報センターの職員がサポートできる体制は中学校区で2名くらいずつは配置したいということで、考えております。よろしいですか。その他ご質問ないですか。

(委員)先ほどの家庭教育のことなのですが、読み聞かせやわらすこ広場にとすると、来る方は毎回来て、来られない方や、コロナの事もあってそれどころではないという方たちが多いんじゃないかと思うのですが、そういう方たちへの支援が何かできないのかなと思っています。

(社会教育課長)難しい問題なのかなと。意識があって来られないのか、コロナのことがあって人が集まるところに来られないのか。それともやはりあまり意識のない方々も含めてなのかな。今後どのようにしていったらいいかというのは検討していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(教育長)なかなか難しい問題ではありますが、そこはいろいろ工夫しながらみんなが必ず集まるような場所というか、機会の形を考えていくということで。では、その他にありませんか。

(委員)学校予算の確保についてなのですが、この中でもいろいろ校長先生方から要望が出されている中で、(4)軽トラックの配置についてということで、確かにPTA目線で見ると、大会ごとに片付けたり出したりの移動に苦慮している部分は確かにあるなという感じがいたします。保護者の方の軽トラックに積んだりという場面も多々ありましたので、できればここに書いております通り、

中学校ごとに1台ずつあるとその学校ごとで使用できて大変便利になり、先生方と保護者の負担軽減にもつながるんじゃないかと感じておりますので、ご検討していただければありがたいと思います。

(教育次長兼教育総務課長) うちの方も何とか各中学校に1台ずつくらいは置きたいと思っているのですが、エアコンやトイレの洋式化、GIGAスクールや明倫学園といったところの優先順位をずっと追っていったら、なかなか手が届かないという状況ですが、何とか頑張っていきたいと思います。

(教育長) その他にありませんか。よろしいですか。では、このような形で、最後に次長が言ったことにも関係してくるのですが、気持ちはあってもなかなか追いつかないところもあるので、できるだけ応えられるようには頑張っていきたいという状況ではありますので、ご理解いただきたいと思います。その他、委員のみなさんから何かございませんか。

(委員) 議員さんの質問に自殺防止というものがあったのですが、最近薬物なども問題になっているし、今日テレビで見たら、市販の薬を飲みすぎる人も結構いるというのもありました。萩野学園ではそういう薬物の勉強はしている様なのですが、各学校の実態はどうなのかというのと、最近SDGsなど、そういった教育も当たり前になってきているのかもしれないのですが、学校の方ではどのようになっているのか教えていただければと思います。

(学校教育課長) 薬物については、保健の領域と生徒指導の領域、様々なところで小学校のうちから指導する時間を取っております。学校によっては専門家を呼んで学級で話を聞いたりとか、保健の授業で行ったりというのは様々であります。先ほど自殺ということもあったのですが、自分のことを大事にするということについて、例えば心の持ち方やストレスの対応についても指導はしております。薬物についての危険性や命を守るということについては非常に大事だと思っております。これからも続けていきます。SDGsについては、具体的にこれだけの指導計画ということではなくて、例を上げますと、カリキュラムマネジメントの中でこれをテーマに取り上げてやっていこうという学校もあります。また、授業だけでなく特別活動の中で必ずその領域が重なるものですから、そういう意味で学校内でも広く関わっていけるのかなと思っております。言葉としては教員もとても関心を持っていると思うのですが、その指導をどうするかという計画や位置付けについてはまだ十分に把握できていないところであります。

(教育長) よろしいですか。薬物というか、薬を多量に飲んでしまうなど、心配される事案もなくはない訳ですので、そういったことも考えていかなければならないのかなと。いろんなことで情報過多になり、こういったことや自傷行為も含めて、これまでの報告の中にもあったと思うのですが、やっぱりそれだけのいろいろなことを抱えている子がいるという、そういったことも気をつけていくということが大事ですので、今後も一層各学校にいろいろ配慮していくようお願いしていきたいと思います。

8. 閉会

午後 2 時 58 分、12 月の定例教育委員会を閉会する。

1 月定例教育委員会を、1 月 21 日（木曜日）午後 2 時 00 分より市役所 301・302 会議室で開催することを確認した。

会議録署名

委 員 _____

委 員 _____

調製した職員 _____